



新年を迎えて



住職 若松隆英

檀信徒の皆様、あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、それぞれに気持ちを新たにされている事と存じます。

朝日寺にとっての昨年は『物心両面において、平成二十六年にやってくる薬師如来の開帳(三十三年に一度)への準備を本格的にスタートさせた年』と言える年であったと思えます。詳しくは後の記事に譲りますが、開帳に向けて昨年始めて行なった「第一回薬師如来祈願法会」は大成功の盛況に終わり、その他の行事も順調に行なう事が出来ました。また、去年は皆様に新たなご負担(5カ年計画)のお願いもスタート致しましたが、こちらも順調に進んでおり、まさに物心両面において順調なスタートが切れたと思えます。今更ながら役員の方をはじめ、皆様のご協力に重ね重ねお礼申し上げます。

さて昨年十一月、日本の月面探査衛星「かぐや」が無事に月を回る軌道に乗り、月面の写真を送ってきました。その写真から受ける月の印象はまことに殺伐としたものです。地球から見る満月のあの黄金色に輝く姿では全くありません。うさぎも竹



前回の開帳

発行者 若松隆英
総代 山代
印刷者 奥山印刷

その人間の寿命には限りがあります。しかし一方人間の欲望には限りがありません。昨年は「相次ぐ偽装問題」「亀田家騒動」が話題になりました。最初はどちらも「お客さんに売れるモノを作ろう」「強くなれるように頑張ろう」という気持ちだったでしょう。ですが、どちらもその向上心がどこかで「嘘をついてでもとにかく儲かればよい」「相手を困らせてでもとにかく勝てばよい」といった欲望へと変わってエスカレートしてしまい、最終的には大きなしっぺ返しを来た印象です。向上心を持ち続けることは大変素晴らしいことですが、それは一

年頭に当って

総代長 清水佐伯男

檀信徒の皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様おそろいで新年を迎えることと存じます。本年がよい年でありますようお願いいたします。旧年中はいろいろとお世話になりました。皆様方のご協力によりお寺の数々の行事も盛況のうちに行うことが出来ましたことに心より御礼申し上げます。

私は平成十九年四月より千種健吾総代長の後任として四月八日の総代会で承認されました。至らぬ私ですが総代長という大役をお受けすることに致しました。

本来ならば玉津地区、裳掛地区より総代長は出て頂くのが一番いいと思いますがとりにあらず私がやらせて頂きますのでどうか皆さん御協力の程よろしくお願致します。平成十九年は朝日寺にとっても檀

歩逸れれば醜い欲望へと繋がってしまふものである、ということも意識して限られた人生努力していかねばならないと思えました。また、私達はついついものねだりをし、不平不満を持ちがちですが、今あることに感謝し、身近な幸せに気付く心を持ちたいと思います。お大師さまのお言葉に「大慈は樂を与え、大悲は苦を抜く」とあります。人に喜びを与え、また一緒に悲しむことを自らの喜びをするような生き方をしたいものです。この一年が皆様にとって幸多き一年であります事をご祈念申し上げます。朝日寺は去年切ったスタートをさらに六年後に繋げられる様な年にしたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。 合掌

家にとっても大きな事業を行ってまいりました。

平成十三年に発足致しました宝物保存会は四年間で千二百万円余り御寄付を頂き、宝物を修復することができました。御協力心より御礼申し上げます。宝物保存会の会計報告の中で残金が七十万円余りあることは皆様御存知と思いますが、そのお金で本年掛け軸等の修復を致しますことを御報告申し上げます。

五月八日の薬師如来祈願法会は初めての行事でしたが大勢の方々の御参拝を頂き、大盛況でした。何分初めてのことですのでどんなになるか心配していましたが住職、総代さん、婦人部や地元の方、多くの檀家の方々、また可愛い玉津保育園の子供たちも御協力下さり、盛大に行うことが出来ました。本当に有難うございました。

これから毎年行いますので今後ともよろしくお願致します。それから七月十六日の読み上げ法要(市の重要無形文化財)は親子孫三代の住職揃っての読み上げ、投げ

銭供養が行われ多くの方々にお参り頂き、盛大に先祖の供養ができました。

投げ銭供養は朝日寺のみの歴史ある行事です。また親子孫三代の住職が居られるお寺はどこにもありません。檀家の誇りです。檀家と住職との関係を密にしてよい方向に進んでゆきたいと思えます。どうかよろしくお願ひ致します。

八月十五日の水祭りにつきましても総代、地元の方々の参加頂き有難うございました。ご先祖様を無事送ることができました。



十月三十日の日帰り寺めぐりには五十六人の方が御参加下さり、檀家の皆様の親睦も出来、心に残る御説教も頂き大変有意義な寺めぐりができました。

来年も寺めぐりは行いますので皆さん是非ご参加ください。それから、今年四月十九日(土)二十日(日)の一泊二日で高野山参拝を計画しています。

皆様のご参加をお願いします。詳しいことは総代さんを通じてお知らせいたします。檀家の皆様に駐車場の件について進行状況をご報告致します。

は水田)六百六十四平方メートルを土地所有者の木村秀雄さんより譲り受け、建設することになりました。

地元、隣地の方々との話し合いを行ない、設計士さんに設計をお願いしています。今の状況はこの程度です。出来るだけ早く完成させたいと思っております。今後の状況についてはまた総代さんを通じて報告させていただきます。

昨年十月より檀家の皆様に変なご負担をお願い致すことになり申し訳ございません。皆さん快くご協力下さり、有難う御座います。その内訳は次の通りです。

- 一、開帳大法会費用 約三百万円
- 二、駐車場用地取得、整備費用 約九百万円
- 三、鎮守堂石段改修費用 約七十万円
- 四、土砂加持法会費用 約二百万円
- 五、高野山開帳千二百年記念行事負担金 約六十万円
- 六、その他の諸費用 御芳名看板設置費用、予備費として 約七十万円

総予算、千八百万円です。その内訳はお寺九百万円、檀家九百万円の負担です。

平成十九年十月より五年間毎年十月に五千万円(一檀家当たり総額二万五千万円)です。

以上が平成十九年の経過報告です。平成十九年の数々の行事は皆様方のご協力によりスムーズに進行出来ましたことに対して心より御礼申し上げます。

今後とも檀信徒の方々色々な面でお世話にならなくてはならないことが沢山あると思えますが、どうかよろしくお願ひ致します。最後にになりましたが、本年が皆様方にとって最良の年であります様心よりお祈り申し上げます。